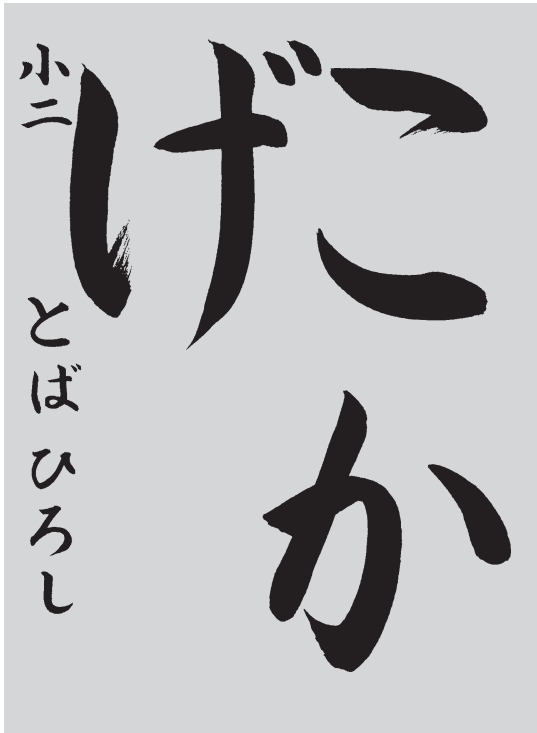


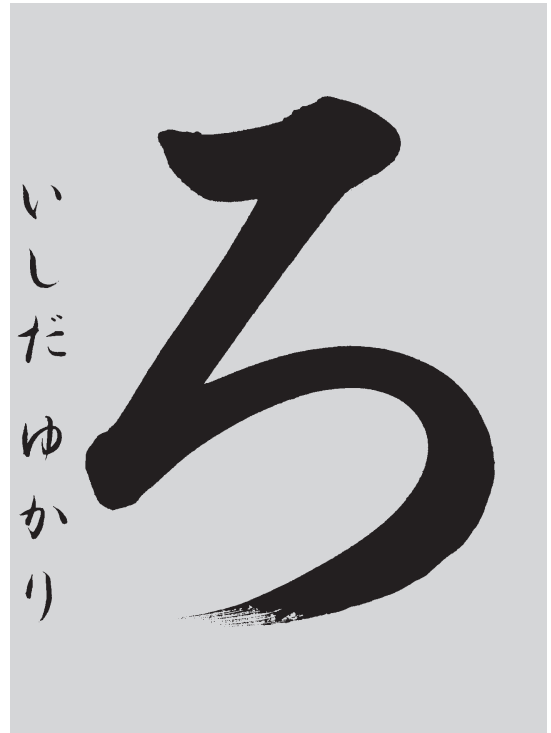
〔8月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



小竹石雲先生

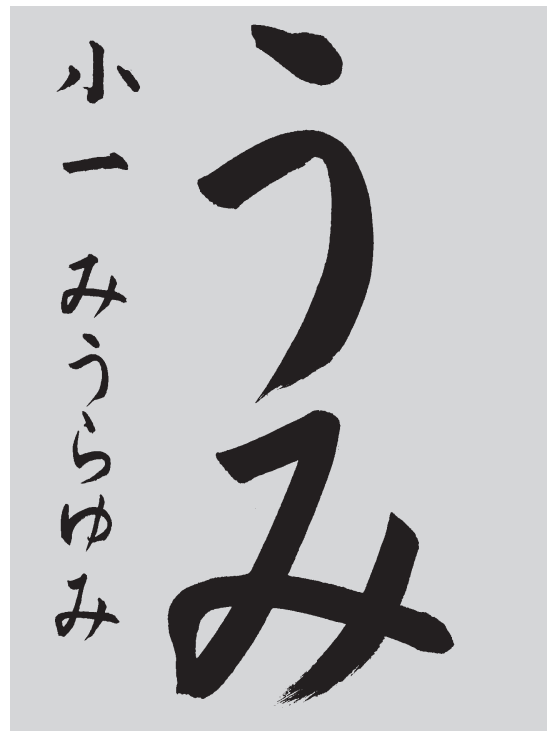
幼・小学1年参考手本



川島舟錦先生



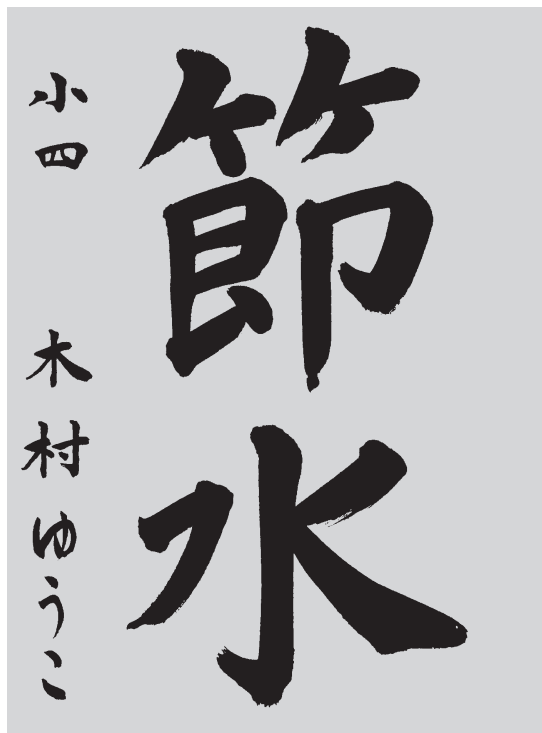
広瀬舟雲先生



飯高和子先生

〔8月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本

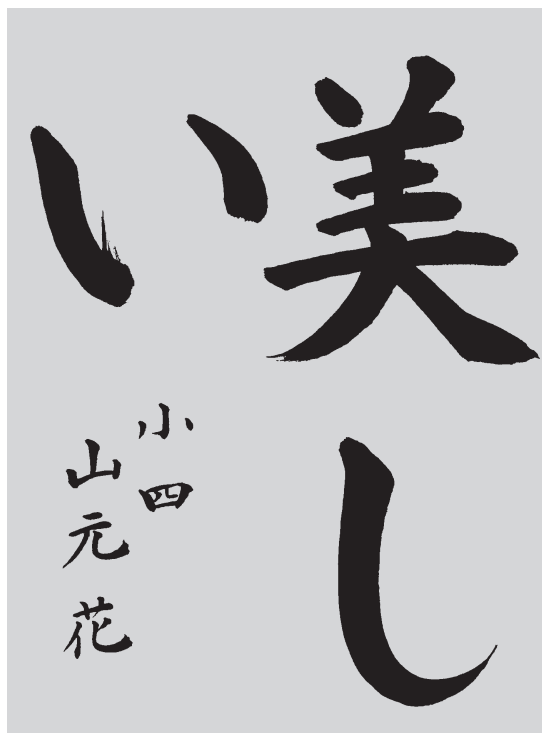


辻元大雲先生

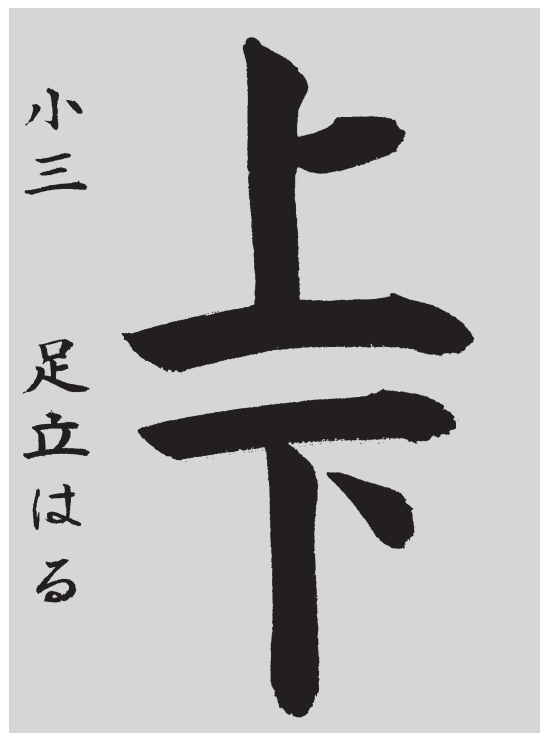
小学3年参考手本



三浦鄭街先生



大野祥雲先生



吹田紅扇先生

〔8月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本



千葉蒼玄先生

小学5年参考手本



坂本素雪先生



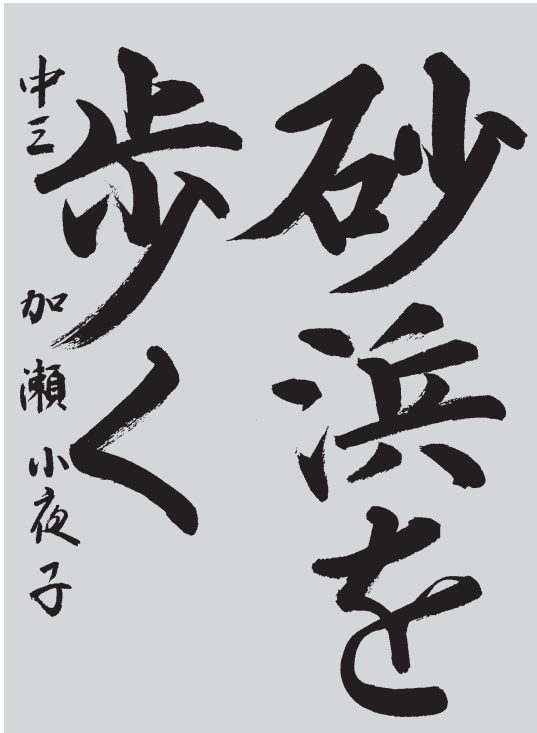
半田藤扇先生



名越蒼竹先生

〔8月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

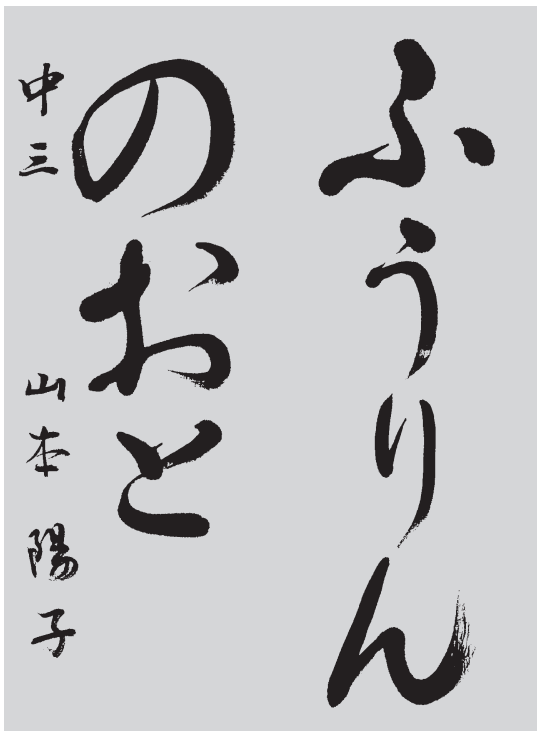
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



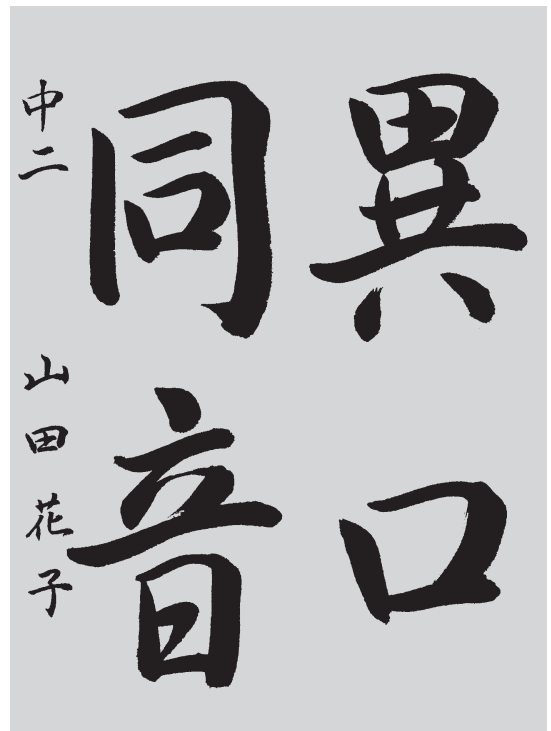
加瀬澄春先生



白石和楓先生



砂本杏花先生



前田龍雲先生

〔8月8日締切課題〕

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔8月8日締切課題〕 用紙は本院指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
 ※8月8日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、9月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

支 部 名			
	び	き	
だん・きゅう	を	の	
	し	う	
がくねん	ま		
一	し		
なまえ	た	は	
	。	な	
			かぶらぎみと

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

『はなび』

かたちをよくみて、ていねいにかきましよう。



上にあがる

ほうこうに気をつけて

中心



のびやかにほらう



てんのいちにちゅうい

いったんとめて上へ

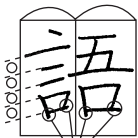
〔8月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 3 年

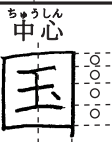
小学 2 年

支 部 名				
		ス		
		ト		
段 ・ 級		が	午	
		あ	後	
		り	は	
学 年		ま		
	三	す		
名 前			国	
	落		語	
	合		の	
	和		テ	
	起			

支 部 名				
		に		
		通	毎	
段 ・ 級		っ	し	
		て	ゆ	
学 年		い	う	
	二	ま		
名 前		す		
	西		プ	
	大		ー	
	和		ル	



口 たてが出る
よこが出る



たてが出る



それぞれのはらいの
方向に注意

「テスト」
分間をととのえて書きましょう。



じょうずにのせる
え(しんにょう)の
かたちをちゅうい

いったん止めてはらう



長く
へびつじゅん
へん毎毎

「プール」
「通」の字形を正しく書きましょう。

〔8月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支 部 名			
段・級			
学 年	五		
名 前	池谷海斗		
	わ	来	や
	っ	年	り
	て	へ	と
	き	期	げ
	ま	待	た
	す	す	満
	。	る	足
		心	感
		が	や
		伝	

支 部 名			
段・級			
学 年	四		
名 前	会田心音		
	気	出	ご
	を	る	み
	つ	熱	を
	く	を	も
	り	利	や
	ま	用	す
	す	し	と
	。	て	き
			に
		電	



「折れ」で「はらう」



ノ 厶 厶 厶 厶 厶
感 十 心
〈筆順〉



シ (さんずい) の形に注意
入る方向
一 冫 冫 冫 冫 冫 冫
満 満 満 満 満 満
〈筆順〉

「満足感」
文字の外形を見て、形を整えましょう。



方向と長さ
気 気 気
〈筆順〉

中心



点の方向に注意
曲がり
あめかんむり 十 乚
電 電 電 電 電 電
〈筆順〉

中心



ハ (れっか) の位置
右上にはらう
熱 熱 熱 熱 熱 熱
〈筆順〉

「電気」
筆順に気をつけて、ていねいに書きましょう。

〔8月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支 部 名	灯台にロマンを感じます。	向かって導くように閃光を照らす	岬の果ての断崖にそびえ、海に
段・級			
学 年			
名 前			
	中一	河野	都

支 部 名	る時間はありません。	が、友人の家を訪問す	ふるさとへ帰ります
段・級			
学 年			
名 前			
	六	玉井	妃美

台 断
感 灯

中心
『灯台』
漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく書きましよう。

岬の果ての断崖に

『ふるさと』
筆順に注意して字形を整えましよう。

問
はね
とめ
一 戸 戸 門 門 問
〈筆順〉

訪
口 横が出る 下が出る
言 言 訪 訪
〈筆順〉

帰
とめ

3年	青	セイ ショウ あお あお・い	一	十	丰	丰	青	青
4年	節	セツ セチ ふし	々	々	笄	笄	節	節
	美	ビ うつく・しい	ソ	々	々	美	美	美
5年	原	ゲン はら	一	厂	厂	厶	原	原
	海	カイ うみ	、	汜	汜	汜	海	海
	底	テイ そこ	一	广	厶	厶	底	底
6年	道	ドウ トウ みち	ソ	々	々	首	道	道
	路	ロ ジ	口	冂	冂	冂	足	路
中学	湖	コ みずうみ	、	汜	汜	湖	湖	湖
	畔	ハン	丨	冂	冂	田	畔	畔
	異	イ こと	田	田	畀	畀	異	異
	浜	ヒン はま	、	汜	汜	汜	汜	浜

行書を学ぼう

(192)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

音

風

湖

声

鈴

畔

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

ひらがなの字源

(192)

と	お	の	ん	り	う	ふ	
止	於	乃	无	利	宇	不	源字
と	お	乃	え	あ	宇	ふ	字形
と	お	の	ん	り	う	ふ	

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

漢字に親しもう

(41)

八月号五年生の硬筆課題「満足感」から「満」にスポットを当てて成り立ちから使い方で学んでみよう。

満

おん マン
 くん みちる・みたす
 部首 水(みず) ↓ シ(さ
 んずい)
 画数 12

満 満 満 満

ㄣ (ㄥ動物の毛皮でおおう) と、

ㄥ (ㄥならべる) で ㄣ (ㄥ全体をおおう) となり、ㄥ (ㄥ水) をそえた字。うつわいっぱいにみたした水を、おおいにかくことから「みたす・みちる」のいみに使う。



いみ・じゆく

- ① みたす。みちる。――満水・満員・満潮・充滿
 - ② みちたりる。――満足・円満・不満・豊満
 - ③ 全体。すべて。――満場・満面・満開
- つかいかた**
- 計算が早いという条件を満たす人物
 - 部屋にガスが充滿して中毒する。
 - おなかいっぱいいで満足しています。
 - 自信に満ちた顔で賞状を受け取る。
 - 永久に満ち干をくり返す海。
 - 月の満ち欠け。

編集余録

○ 第65回記念全国学生書道展の募集要項が出来上がりました。作品の締切は10月31日です。半紙の部と半切1/2の部の両方に出品出来ます。今から準備して力作を沢山お寄せください。

○ 43年ぶりに母屋を新築することになった。毎日仕事が終わってから夜中にコッコツと書類や押し入れの整理をして数ヶ月が経過、家族で力を合わせて必死になって片付けをしました。多くの人の力を借りて何とか取り壊しの約束の日に間に合いました。家の中がガラガラになり家財道具が無いと結構広いなと感じました。生まれてからずっとこの家に便利に暮らして来ました。何か感謝の気持ち湧き上がり一部屋ずつどうきんがけをし、風呂のタイルもピカピカに磨いてきれいになりました。

○ 『人や物の心を大切に』という言葉を書いて出します。決して感傷に浸っている訳では無く次のステップに進む為の大切な心持ちなのかなと感じ、淡々と次の準備にかかりたいと思います。

(鄭街)